

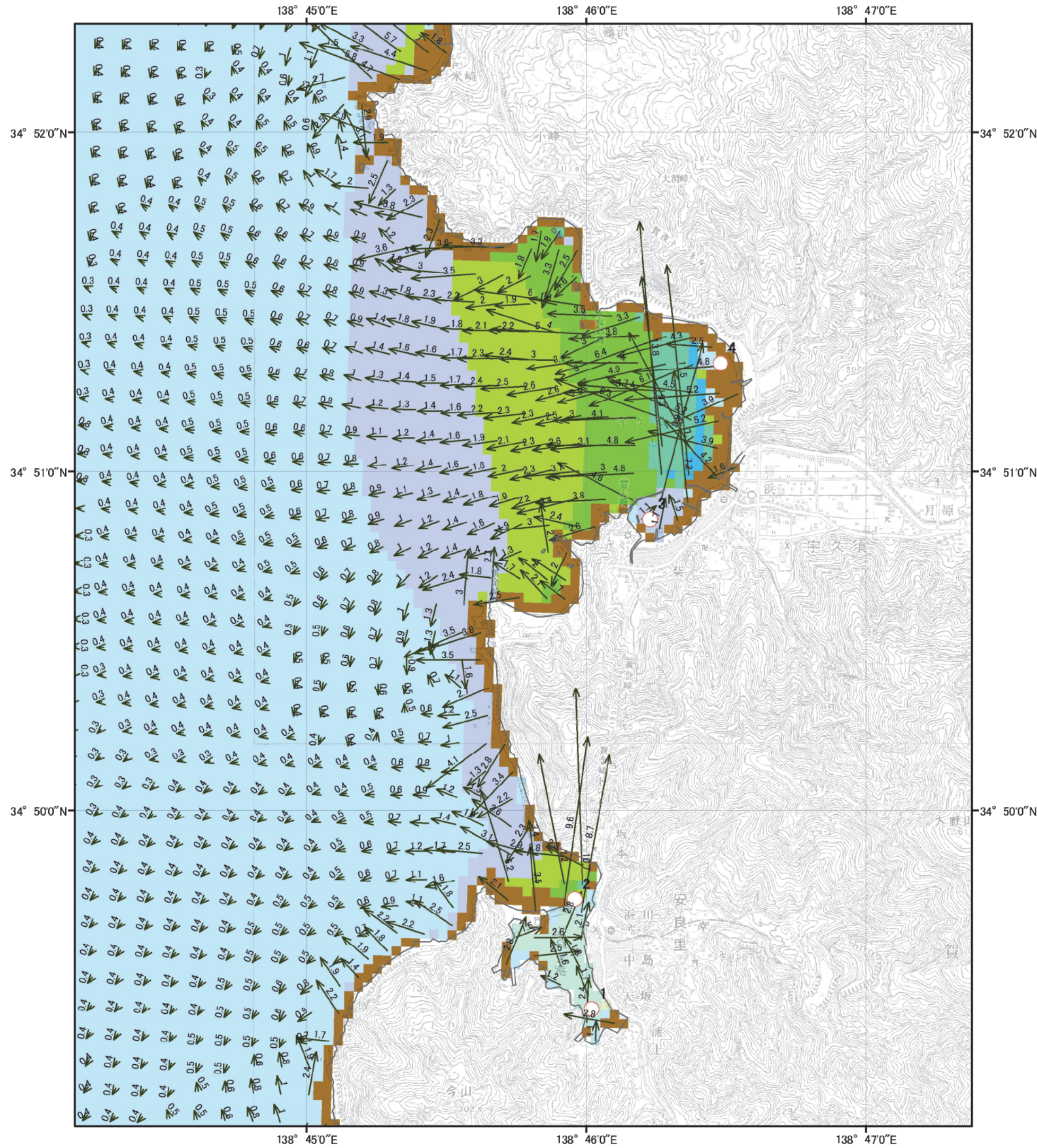
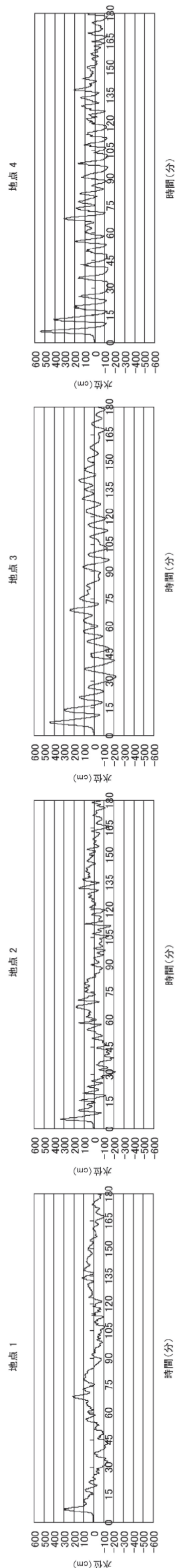
宇久須港 津波防災情報図(引潮図)

計算条件：最低水面

・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

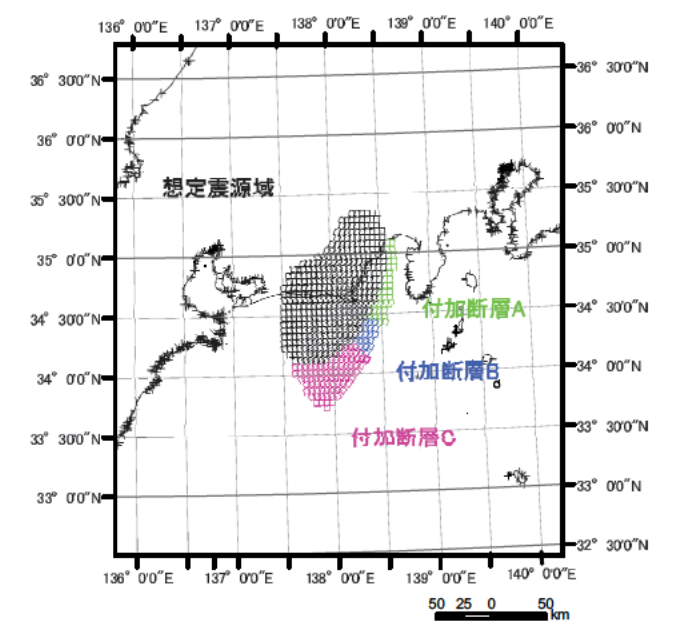


凡例

- 露出域
- 経時変化図出力点
- 最大水位低下
 - 400～最大440cm
 - 350～400cm
 - 300～350cm
 - 250～300cm
 - 200～250cm
 - 150～200cm
 - 100～150cm
 - 50～100cm
 - 50cm未満
- 引潮時最大流 [knot]
 - 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

想定震源域と付加断層の位置



	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34° 45' N, 138° 02' E	19km
付加断層 A	34° 45' N, 138° 30' E	4km
付加断層 B	34° 15' N, 138° 20' E	6km
付加断層 C	34° 00' N, 138° 00' E	7km

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会(平成13年12月11日)」で公表された断層モデルを使用した。

作成機関：海上保安庁
作成年月：平成15年 3月(初版)
第2回改訂：平成16年 3月(ver1.2)

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。

・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データ等を使用した。

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平15総複、第673号)

・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号 平15総使、第672号)

